

2022年1月13日

関係者各位

筑波大学附属坂戸高等学校
校長 田村 憲司

第3回 WWL 研究大会・第25回総合学科研究大会のご案内

新春の候、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、下記の通り第3回 WWL 研究大会・第25回総合学科研究大会をオンラインにて開催いたします。本校では1994年度に総合科学科を開設して以来、探究を軸とする教育課程の開発を行っております。2014年度から5年間、文部科学省のSGH（スーパーグローバルハイスクール）指定校として、また、2019年度からはWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業の拠点校として、総合学科で培ってきた探究学習や、海外を含む外部連携の蓄積を活かし、グローバル人材の育成に努めてまいりました。

今回の研究大会のテーマとして、カリキュラムマネジメントの検証をテーマに据えました。新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」「育成する資質・能力の明確化」が謳われておりますが、現在の教育活動を向上させるために、今年度も本校では、学校全体でカリキュラムマネジメントや評価法について、検討を続けてきました。日々の授業や探究活動を通して努力していることが、生徒のどのような力の成長に寄与しているのか、教員間で共通の言語や視点を持つために、校内研修を重ねているところです。本研究大会の分科会におきましても、このカリキュラムマネジメントについて活発な議論を展開していく予定です。

WWL 拠点校としての3年間は、コロナ禍により計画の変更を余儀なくされ、一次体験を重視する教育が思うに任せない中で試行錯誤を繰り返しておりました。かつてないほど世界中がつながり、急速に変化する社会を生きていく若い世代に、学校教育は何ができるのかが問われていると感じております。違いや多様性を楽しむ柔らかな心、先例のないことに見通しをもって挑戦していける知力と行動力を、私たち教育関係者も、生徒たちとともに獲得していきたいと考えます。

全国の先生方もご苦勞の中で色々な取り組みをされていると存じます。道半ばではありますが、本校の現状をご覧いただき、先生方からのご意見やご示唆をいただき、励まし合い、明日に続けていく原動力を互いに得られる場にしたいと考えます。お忙しいところ恐縮ですが、ご参加をお待ち申し上げます。

記

1. 日時 2022年2月12日（土）
2. 名称 第3回 WWL 研究大会・第25回総合学科研究大会
3. 主題 「総合学科における探究活動の現在地 ～SGH/WWL を包摂するカリキュラムマネジメントの検証～」
4. 対象 全国の総合学科校ならびに WWL 事業拠点校・共同実施校・連携校、SGH ネットワーク参加校の教員、教育関係者、SDGs 関連団体、IB 認定校・IB 候補校・IB 関心校および IB に関心をお持ちの高等学校教員ならびに教育関係諸機関
5. 講演 演題： グローバル人材育成とアセスメント
講師： 石森広美氏 宮城県仙台二華高等学校教諭。東北大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士（教育学）。グローバル教育、国際交流、ユネスコスクール、国際バカロレア（IB）等を担当し、現在まで日本国際理解教育学会および日本グローバル教育学会理事、宮城県高等学校国際教育研究会事務局長、全国国際教育研究協議会理事を歴任。文部科学大臣優秀教員表彰、宮城県教育委員会優秀教員表彰、全国国際教育研究協議会功労者表彰など受賞多数。
6. 会場 Zoom によるオンライン開催
7. 参加申込 期間 2022年1月14日（金）～ 2月2日（水）
方法：下記 URL よりお申し込みください。
申し込みフォーム <https://D4TaguiVf7>
※本校ホームページ <https://www.sakado-s.tsukuba.ac.jp/> にも、上記の申し込みフォームの記載がございます。
8. 参加費 無料



9. 注意事項

- ・本研究大会は Zoom Meeting および Webinar によって配信いたします。
- ・本研究大会は記録のため録画されますが、参加者皆様による当日の録画・録音・写真撮影はご遠慮ください。
- ・参加者皆様には、大会3日前までに、大会配信方法の詳細および資料に関する情報を、いただいたメールアドレスにお送りいたします。また、2月4日より先行して授業動画を公開致します。こちらの接続方法および資料に関しては4日当日に同アドレスにお送り致します。

10. 日程

主題「総合学科における探究活動の現在地～SGH／WWLを包摂するカリキュラムマネジメントの検証～」

プログラム	
9:00-9:30	開会行事（学校概要・本校の研究活動、WWL 事業について）
9:30-12:50	生徒による探究活動の発表 9:30～10:00 1年次「産業社会と人間」 10:10～10:50 2年次「T-GAP（つくさか・グローバルアクション・プログラム）」 11:00～12:50 3年次「卒業研究」
昼休み	
13:50-15:10	基調講演「グローバル人材育成とアセスメント」 講師：石森広美氏 宮城県仙台二華高等学校教諭
諸連絡・案内	
15:20-17:00	分科会 ※1つをお選びください。 A：総合学科における生徒会活動と生徒指導の在り方 B：探究活動を軸としたカリキュラム C：WWL と総合学科によるグローバル人材の育成 D：IBDP（国際バカロレア）開設と運用について E：気候変動とESD ※1次案内より変更されております

【分科会概要】

A. 「総合学科における生徒会活動と生徒指導の在り方」

令和2年より生徒会を中心にプロジェクトを立ち上げ、生徒自らこれからの社会を見据えた学校を作るべく様々な取り組みを行ってきました。これは総合学科の理念、自立した人格形成や多様性の受容に根ざすものです。実践の推移や影響、具体的な体制作り等を報告し、皆様とこれからの生徒指導の在り方を考えたいと思います。

B. 「探究活動を軸としたカリキュラム」

学校の教育活動全体が探究活動を軸として構成されている点は本校の大きな特色です。カリキュラムとしての構成や課題など、探究活動の事例を踏まえながら報告します。後半は、御参加いただいた皆様からの質問や意見をもとに、来年度以降、各校で実施される「探究」を見据えて、可能性や課題を共有したいと考えています。

C. 「WWL と総合学科によるグローバル人材の育成」

「WWL と総合学科によるグローバル人材の育成」を主な論点に、本校が積み重ねてきた研究開発の概要と成果を報告します。後半は、討論に御参加いただき総合学科のみならず高等学校におけるグローバル人材育成活動の様々な可能性と実現に向けた課題の共有、教員間のネットワークづくりを行えればと考えています。

D. 「IBDP（国際バカロレア）開設と運用について」

平成29年に国際バカロレア認定校に認定され、今年度は第Ⅱ期生が最終試験を終えた。これまでの本校の実践から見てきた日本の高等学校におけるIBDPの開設と運用の課題について報告します。後半は、参加者の勤務校の国際バカロレアの導入状況やニーズに応じて、情報共有を行いたい。

E. 「気候変動とESD」 ※1次案内の段階ではございませんでしたが、新設致しました

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、学校教育における環境教育の充実が目指されています。エネルギー問題を教材とした「主体的・対話的で深い学び」となるワークショップの事例を報告し合い、成果や課題を共有します。参加者の発言や意見を賜り、今後の本格的な実施に向けて有意義な議論ができるよう努めます。

11. 研究大会に関するお問い合わせは、こちらまでお願い致します。

筑波大学附属坂戸高等学校 〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田 1-24-1

TEL 049-281-1541（代表）

研究部 北野 啓子 TEL:049-282-7212(本校外国語科直通)

E-mail: kitano.keiko.fn@un.tsukuba.ac.jp